

東北広域次世代がんプロ養成プラン

次世代がん対応歯科医師研修コース（口腔がん検診研修コース）

募集要項

日常診療や歯科定期健診に於いて、口腔に発生した粘膜の異常に気付くのは、かかりつけの歯科医とそのスタッフであろう。また、白血病などの全身の疾病も、口腔内に初発症状が現れる場合もある。よって、かかりつけ歯科医の重要な機能のなかに、口腔内外のがんのスクリーニングや初期対応も含まれる。第4期がん対策基本計画に於いても、HPV対策を含む一次予防や、がん検診を推進する二次予防が強調され、がんとの共生とそれを支える基盤の充実が訴えられている。更に、全身のがん治療時には、口腔内に医科処置の副反応が生じる場合があり、がんの闘病中の患者の周術期口腔管理に関する最新の情報も、かかりつけ歯科医は系統立てて理解することも必要になる。

本コースでは、地域でかかりつけ歯科医として活躍する歯科医を念頭に置いて、最新のがんの基礎知識、口腔粘膜病変の鑑別診断、更には口腔がん治療時から術後管理の手法、周術期口腔管理の注意事項等、がんに関わる最新の知識を確認する集中的な講義を実施し、地域でがんに関わる歯科診療を推進する歯科医師の養成を目的とする。

目 標

- ・地域医療機関にて日常診療時や歯科検診時に、前がん病変や早期がんの発見を適確に実施できる口腔がん検診歯科医師の養成（がん予防）
- ・医科と連携してがん患者を地域で受け入れることのできる、かかりつけ地域連携歯科医の養成（顕在化している課題対応）
- ・顎骨壊死など癌治療関連有害事象や高齢者・成人のみならず、小児やAYA世代がんに対応できる歯科医師の養成（顕在化している課題対応・多様な新ニーズ）
- ・すべてのがん治療に対し口腔支持療法により治療支援を立案・実施できる歯科医師

受講期間：2025年10月1日～2026年1月31日

受講料：無 料

受講対象者：歯科医師、受講を希望する歯科医療関係者

受講内容：本コースに対応する東北大学大学院歯学研究科博士課程の選択科目^{※1}について、オンラインで16時間、自己学習で14時間、合計30時間以上を履修し、試験に合格すること。また、がんプロ主催の講義^{※2}を受講可能。

※1：東北大学大学院歯学研究科博士課程の選択科目内容 「口腔がん検診特別研修」

- ・がん疫学 杉浦 剛
- ・ジェネティックエピジェネティック異常とがん 杉浦 剛
- ・口腔粘膜の解剖学的特徴と病理診断の基礎 瀬瀬 衆
- ・がんの発症と治療に関する基本的知識の確認 杉浦 剛
- ・口腔粘膜・口腔癌検診（理論と実技、評価と連携）杉浦 剛
- ・口腔細菌叢と発がん・口腔管理の意義 杉浦 剛
- ・がん治療を受ける患者さんへの歯科・口腔管理計画と評価（最新のがん治療・周術期口腔管理・歯科がん支持療法）瀬名 浩太郎
- ・がん患者の社会復帰を支援する歯科治療介入・摂食嚥下栄養管理 瀬名 浩太郎

※2：がんプロ主催の講義（次世代腫瘍予防学特論、臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ、臓器別臨床腫瘍学特論、腫瘍関連学際領域特論、臨床腫瘍研究開発学特論）

応募期間：2025年9月26日（金）まで

応募方法：以下 URL または QR コードより申込

申込フォーム <https://forms.gle/9nLR8kBdNSqPd1wMA>



※フォームから申し込みが困難な方は、以下の内容を東北大学歯学研究科教務係
(denkyom@grp.tohoku.ac.jp) にご連絡ください。

学内者：氏名、所属、連絡先メールアドレス

学外者：履歴書（書式自由）、免許証等の専門性を証明するもの、連絡先メールアドレス

詳細については、下記へお問い合わせください。
東北大学歯学研究科顎顔面口腔腫瘍外科学分野（担当：杉浦）
メールアドレス：tsuyoshi.sugiura.b2@tohoku.ac.jp